

第3期 中部WIN 第1回開催レポート

開催日時：令和2年7月22日（水）13時～17時

主催者挨拶

中部経済産業局長 高橋 淳



「女性活躍」の取組を実施する必要のない社会になることが最終的な理想ではあるが、現状はそうした社会になっているとは言い難い。

皆様にはより良い社会の構築に向けたビジネスモデルの提案をしていただくプロセスを経験していただくと同時に、この場を自分の悩みや将来への志を共有できる仲間とのつながりをつくるための機会として利用してほしい。

「ビジネスモデル提案に当たって」 中部経済産業局地域経済部長 関念 磨聡

ビジネスモデルの提案にあたっては、着想を得ることからスタートする。堅く考えず、日頃の常識を疑うことや実際の声をきくことが着想のヒントとなる。そこから仮説を構築し、根拠となる数字を示しながら、企画・立案を進めていってほしい。



企業業種を超えて出会ったメンバーと課題設定からともに悩み、知恵を絞り、意見を出し合い、お互いに協力していく「プロセス」を大切にしてほしい。

「“想い”をビジネスにつなげる知的財産

ー知財を活用した経営戦略・事業計画ー

あいぎ特許事務所 副所長・弁理士 廣田 美穂 氏



ビジネスを検討する上で大切なのは、将来こうありたいという“想い”からスタートすること。今ある経営資源から考えるのではなく、提供する価値は何か？そのために必要な資源は何か？バックキャストして考えていくことが大切である。

知的財産とは、新たな価値を生み出すために必要な経営資源のことであり、また、知的財産権とは、知的財産を守り効果的に活用するために必要なものである。独自の技術やノウハウ等、秘匿化や占有化で守るべきものと、他社に使用をオープンに許すことで新たな価値を生み出すものを使い分ける「オープン・クローズ戦略」は大手企業だけではなく、ベンチャー企業や新規事業を行う企業にとっても重要である。

グループワーク

新型コロナウイルスにより生じた新たな課題を踏まえ、社会課題や新たな価値創造につながるビジネスモデルの提案を第6回の成果報告会に向けて検討します。



A～Dの4グループに分かれ、各グループ6～7名で議論を行います。昨年度行われた第2期中部WIN参加者のサポーターや中部経済産業局の部長が担うアドバイザーがグループワークを応援します。